昭和五十年の成人式は八月十五日の予定です。

49年12月11日～50年1月10日

冬の交通事故防止運動

歩行者事故の防止
スリップ事故の防止
踏切事故の防止

冬の交通事故防止運動が十二月十一日から一月十日まで県下一斉に行われます。

この運動は、冬期における積雪、凍結による道路条件の変化及び年末、年始において飲酒の機会が多いことなどに起因する交通事故の多発が予想されるため、県民総ぐるみの運動を展開し、交通事故の根絶を図ることを目的としています。

運転者も歩行者もそれぞれの立場から次のことを守り、交通安全に心がけてください。

歩行者は雨具や防寒着の着用から、視界も悪くなり、動作も鈍りがちになりますので特に道路を横断する場合は注意をしてください。

運転者はスノータイヤ、チェーンの装着をはじめ、車の整備を十分にする一方「冬期間のスピード一割ダウン」を心がけてください。

また、自転車、バイクの使用者は「悪天候時および夜間の使用は自粛」に協力ください。

積雪による見通しの悪さから路切での事故も心配されますので、通過の際は十分、安全確認を徹底してください。

第一回岩室村 元旦マラソン大会

申込み　岩室公民館へ12月15日まで

日常生活における健康への欲求により村民の体力保持増進とスポーツの振興を図り村民が明るく健康な生活を営む基盤を作ろうと元旦マラソン大会を開催することになりました。

皆さんの多数のご参加をお願いします。

種目次の通り

小学生男女距離	一、〇〇〇M
中学生女子	一、〇〇〇M
中学生男子	三、〇〇〇M
青年三十五才以下(高校生含)	五、〇〇〇M
壮年三十六才から五十才まで	三、〇〇〇M
高令五十一才以上	一、〇〇〇M

!!飲酒運転者は広報に氏名公表!!

冬の交通事故防止運動と並行して、ただいま飲酒運転追放一〇〇日運動が行なわれていますが、その効果もむなしく、毎日の新聞やニュースに飲酒運転による事故が報道されない日はありません。

飲酒運転のもたらす結果の悲さんさについては十分ご承知のことと思いますが、交通三悪のうちで最も悪質なこの行為は、運転者の心がけによってその追放は可能です。

そこで、県、市町村、警察では、飲酒運転追放運動の一環として、期間中飲酒運転者は所轄警察署の発表しだい市町村広報紙に氏名を公表することになりました。

運転者はもちろん、家族ぐるみ、地域ぐるみで飲酒運転撲滅を目ざしましょう。

水道管を寒気から守りましょう

◎夜の冷えこみにご注意

気温がマイナス四度以下になりますと、水道の水が凍ったり、水道管が、破れつしたりします。とくに多いのは次のようなところです。

○水道管がむき出しになっている。

○水道管が北向にある。

○水道管が風あたりの強いところにある。

◎水道の凍結を防ぐには

○むき出しの水道管や屋外にある蛇口には、保温材をとりつけましょう。保温材は、水道業者が持っておりますが、手近かなものとして、毛布、フェルト、コモ等を巻きつけその上にビニール等を巻いて保温材がぬれないようにしましょう。

○風当りの強い所には、木箱や、ダンボールケース等で風を防ぐよう工夫しよう。

◎水道が凍って水が出ないときは、タオル等かぶせ、その上からぬるま湯等でゆっくりと、急に熱湯をかけると、水道管や蛇口が破れつすることがあります、充分ご注意を。

◎水道管が破れつしたときは、あわてず、止水栓（メーターボックスの中にあって手で止められる）をしめ、水を止めて下さい。そして村指定工事店か水道課に修理を申込んで下さい。

大切な水です、破れつ等で無駄に捨てないようにしましょう。

□□□□ 岩室村史 □□□□ 雑感

和納三区　佐藤優子（実践女子大二年）

現在、故郷を離れ、学生生活を送っている私ですが時々？ホームシックとまではいかないまでも、無性に家が恋しくなったりする時があります。そのせいでしょうが、家にいた時には、思ったこともなかった、自分の故郷というものについて考えさせられる時が、しばしばあります。そしてそんな時、いつも痛切に感じるのは、故郷についての自分の知識不足でした。

夏休みで帰省した時に、ふと目を通した「岩室村史」はそんな私にとって、故郷を考え、理解するための師となったと言えます。

特に、興味深く読んだのは、和那美の水門の解説に始まる古代の岩室村についてのところで、文化の中心地ぐらいについてしか解説のない教科書などにより、今までは古代について神話に近いような茫洋としたイメージしか持てなかった私ですが、本書により都から遠く離れた、この地にも、すでに人々の生活があったことを知り、古代の歴史を実感としてとらえられるようになった気がします。このことは、昭和期へ入っての戦時中のことについても同じく、言えることです。

又、方言や民話の章は、とても楽しく、岩室村史が単なる歴史書で終ってない点が大変うれしく感じました。以上は、印象深かったところの、一部にしかすぎませんが、これからも、この「岩室村史」を故郷への理解の手がかりとしてゆきたいと思っています。

昭和50年度、新入学児童の健康診断の実施

昭和五十年度に就学する児童に対し、あらかじめその児童の心身の状況を知り保健上の適正な就学を期すため健康診断を次の通り実施いたします。

岩室小学校　12月10日午後1時
和納小学校　12月10日午後1時
間瀬小学校　12月10日午後1時

たばこは村内で買いましょう

除雪はみんなの力で

除雪作業にご協力を

新潟気象台によると、この冬の天候は平均すると前の冬より高温で積雪は少ない見込みです。しかし、周期的に寒波が襲来して冬の前半にまとまった雪の降る時期があり、平野部でも一時的に大雪となるおそれがあるといわれています。

村では、村民生活の安定と交通の確保を図るため、除雪対策本部を設け、いろいろ対策を講じています。

除雪作業について、村民の皆さんからの協力によって万全を期したいものです。

「協力とご注意」

①路上駐車は除雪作業に最も大きな障害となります

②路上に雪を投げ出さない

③屋根の雪おろしで除雪車の支障にならないよう

④樹木、竹等が路上にたれさがって除雪作業の支障にならないよう

⑤道路標識をたいせつに

⑥自動車には、チェンをつける

⑦自分の家の前は自分で除雪を

暖房器具の安全点検を

＝石油ストーブの取扱のポイント＝

石油ストーブによる火災は、暖房器具のうち一番多く、ひとたび出火すると大きな火災になりがちです。また、出火原因は取扱上の不注意による火災が圧倒的です。取扱いに十分な注意をすれば、火災は未然に防ぐことができるはずです。

○使用する前には必ず整備点検をする。

○ふすま、カーテンなど燃えやすいもののそばや、物が落下するところで使わない。

○出入口や通路、危険物の保管場所での使用はやめる。

○火をつけたまま持ち運んだり給油したりしない。

○外出するときや寝るときは完全に消火する。

○対震自動消火装置のついたものを使用する。

○新しく購入したときは、説明書をよく読んでから使用する。

○石油ストーブのそばではガソリンやヘヤースプレー、マニキュア、接着剤などの危険物は取扱わない。

○万一の場所に消火器を備えておきましょう。

街を明るく防犯に役だててください

東北電力　街灯五基を寄贈

東北電力では「地域繁栄への奉仕」を基本として事業運営をすすめられていますが、十一月五日から十五日までを「サービス月間」と定めて地域住民のサービスに諸行事が計画されましたが、この事業の一環として、東北電力巻営業所（石田辰五郎所長）より村に防犯灯（松下電器製20W螢光灯、自動点滅器付）五基が寄贈されました。

村では、感謝の意をもって受納いたし取り付け場所について検討中でありますが、明るい街にして防犯に役立てこの行為に報いたいと思います。

年末の郵便物はお早目に

小包は十二月十五日　年賀状は十二月二十二日までに　郵便番号もお忘れなく

ことしも年賀状を書く時期が近づいてまいりました。年末の郵便局は大変混雑いたします。みなさんが心をこめた贈答用の小包や年賀状を無事にお届けする為に郵政省では最大の努力をいたしますが、みなさんから次のことについてご協力くださいますようお願いいたします。

◆小包郵便

◆小包は十二月十五日までにお出し下さい。

◆荷造りはしっかりと、荷札を二枚つけて、郵便番号もお忘れなく。

年賀状

◆年賀状は十二月二十二日までにお出し下さい。受付は十二月十五日より始めます。

◆出し方

1お年玉つき年賀はがき以外のはがきを年賀状として出すときは表面左側に「年賀」と赤い字でお書き下さい。

2多数お出しの方は「村内あて」「県内あて」「県外あて」の三つに分けてお出しになるようご協力ください。

◆あて先は正確に番地などを省略しないように、○○方とか、○○ビルなど、肩書きがあったらぜひ忘れずに。特に世帯主以外のご家族あてのものは、世帯主のお名前を肩書き下さるようお願いいたします。

◆郵便物は郵便番号で区分けをしていますので、郵便番号を忘れずにご記入願います。

≪郵便局より≫

たばこの煙が千五百万円に変身

みなさんが毎日お吸いになっているたばこには、たばこ消費税がかかっています。これは価格の中に含まれているため、特に税を納めた感じはしませんが、後で村へ還元されます。

還元される率は価格の一八・一％が市町村へ。一〇・三％が県へ、たばこ消費税として還元されます。したがって、二〇本入のたばこ一箱を買うと、平均一五円二三銭が村の収入として入って来るわけです。

昭和四十八年度中のたばこ消費税として村の収入になった額は千四百九十一万七千円です。

日頃愛好しているたばこが村の財政に大きく貢献しています。健康のために吸いすぎに注意することは当然ですが、通勤、出張や旅行のとき村内でたばこをお買い求めて下さい。

昭和48年度 近隣市町村別たばこ消費税

市町村名	税額
	千円
岩室村	14,917
燕市	79,444
吉田町	39,975
分水町	26,049
寺泊町	18,797
巻町	53,822
西川町	15,987
中ノ口村	10,115
出雲崎町	10,823
弥彦村	14,034
和島村	9,420

篤志ありがとうございます

◎故中沢健児君のご両親の寄附

去る十月十九日病魔におかされて幼い命を絶った、中沢健児君（和納小四年生）のご両親、中沢靖雄さん（和納一区）ご夫妻は、十月二十五日教育委員会を訪問され健児君の生前のお礼を申述べられると共に故人の追善の供養の願えをこめて「和納小学校の教育振興のため」に役立てて欲しいと、金二十万円也の寄附金の申出があり、関係者一同は感激させられ、このお金は寄附者のご意志に添よう、その使途について目下慎重に検討中でありますが有意義に使わせていただきます。

◎石瀬山田さん、香典がえしにご寄附

さきに逝去された石瀬山田工務店社長山田喜佐男氏のご遺族は故人のご冥福をお祈りし、香典がえしとして岩室中学校へ天幕一張（代金十二万円）岩室小学校へ教育振興のため十万円のご寄贈の申出があり有難く受納させていただきました。